

## 精密なものづくりで先端産業に貢献する

(提案公募型技術開発事業)

## 株式会社ティ・ディ・シー

## 事業概要

当社は、昭和28年創業以来、【「出来ない」を言わない】をモットーにお客様の困りごとや難しい技術課題を解決することを通じて、自社の鏡面加工技術の高度化を行い、オンリーワンの技術を確立してきました。当社の技術は様々な材質や形状にナノレベルの面粗さや形状精度を実現可能です。この技術は、半導体、自動車、航空宇宙、ディスプレイ、医療機器など様々な産業分野で使われています。また、技術開発と並行して、積極的な販路開拓活動、広告宣伝や展示会出展なども行っており、国内外に3,000社を超えるお客様との取引実績があります。

たゆまぬ技術の高度化や独自の装置開発を通してお客様のものづくりに貢献する取組みが認められ、平成20年には経済産業省「元気なモノづくり中小企業300社」、平成26年には「グローバルニッチトップ企業100選」に選ばれています。同年のJAXA「はやぶさ2」プロジェクトにおいては当社の鏡面加工技術が小惑星の物質を回収する容器内面の均質化、コンタミフリーの実現に役立っています。

平成27年度には、[提案公募型技術開発事業](#)を活用して申請した経済産業省戦略的基盤技術高度化支援事業（通称「サポイン事業」という。）に採択され、SiC（炭化ケイ素）パワー半導体で使用される単結晶SiC基板について、表層の単結晶部分と支持基板となる多結晶SiC基板を貼りあわせることでデバイスの低コスト化を目指した「半導体の低価格化に貢献する多結晶SiCの研磨の高度化・大口径化技術確立と装置開発」に取り組んでいます。東北大学との産学連携によってナノ界面の物理的・化学的研磨現象を解析しながら効率的な研磨条件を導くため技術開発を行っています。

## 企業の声

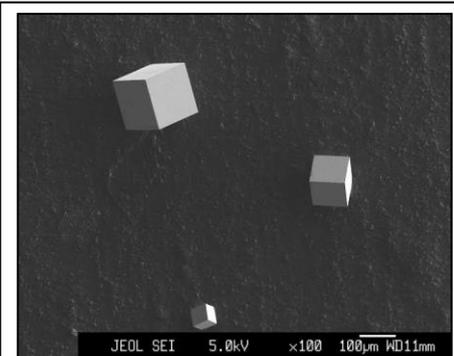
これまでも難しい技術課題を一つ一つ解決することで、技術の高度化を行ってきました。

サポイン事業では東北大学の栗原教授、産業技術総合研究所、エンドユーザーも含めた産学官連携を行い、自社の力の数倍の知識やスピードを武器に開発を進めることが可能となっています。

早期事業化を目指し引き続き頑張ります。



[加工事例：大面積ロール形状への鏡面]



[加工事例：150、100、50μmのサイコロ]

## 企業概要

代表者：代表取締役社長 赤羽 優子  
住所：宮城郡利府町飯土井字長者前 24-15  
電話：022-356-3131  
E-mail：[tdc@mirror-polish.com](mailto:tdc@mirror-polish.com)  
URL：<http://mirror-polish.com/>  
従業員：60名  
業種：製造業  
主要事業：電子部品製造・加工業

[提案公募型技術開発事業](#)は、国等の提案公募型技術開発資金への提案発掘やマッチング等を行い、産学連携共同研究体の申請に係る支援から、社会に有用な新技術・新商品開発・実用化等に至るまで、総合的なコーディネート支援を行う事業です。